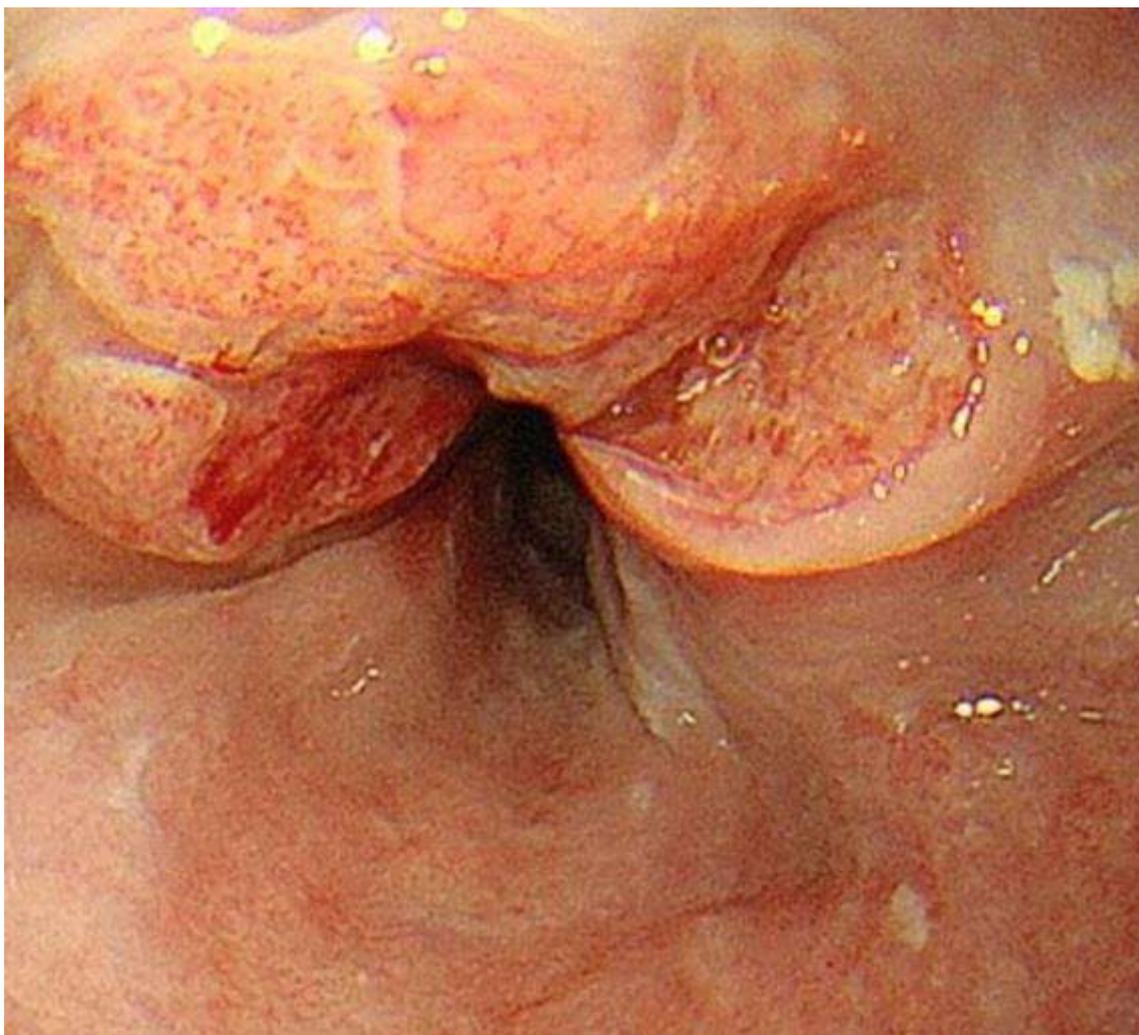


全がん協、がん5年生存率、10年生存率データを更新

国立研究開発法人国立がん研究センターは、全国がんセンター協議会の協力を得て、加盟32施設の診断治療症例について部位別5年生存率、10年生存率を集計し、全がん協ホームページで一般公開しました。



食道がん写真

全がん生存率

<http://www.zengankyo.ncc.go.jp/etc/seizonritsu/seizonritsu2012.html>

収集症

1997 年から 2012 年までに全がん協加盟 32 施設で診断治療を行った 783,000 症例

集計対象

5 年生存率：2010 年から 2012 年に診断治療を行った症例のうち、集計基準を満たした 148,226 症例
10 年生存率：2004 年から 2007 年に診断治療を行った症例のうち、集計基準を満たした 94,392 症例

集計基準

- 15 歳から 94 歳までの症例（15 歳未満、95 歳以上は除外）
- 良性腫瘍、上皮内がん、0 期、転移性腫瘍は除外
- 自施設診断自施設治療、および他施設診断自施設治療症例（診断のみは解析対象外）
- 以下の基準を満たした施設のデータのみを集計
 - 臨床病期判明率 60%以上
 - 追跡率（予後判明率）90%以上

5 年生存率

- 2010 年から 2012 年に診断治療を行った 32 施設 148,226 症例について、病期不明症例を含む全症例と手術症例の 5 年生存率を部位別に算出しました。
- 算出した部位は、22 種です。
- 1997 年から 1999 年症例、1997 年から 2000 年症例、2001 年から 2003 年症例※、2004 年から 2007 年症例※、2007 年から 2009 年症例※、2008 年から 2010 年症例※、2009 年から 2011 年症例※に続いての公開となります。※病期不明症例を含む全症例と手術症例による算出

相対生存率算出結果の概要

全部位全臨床病期の 5 年相対生存率(病期不明症例を含む全症例)は 68.6%でした。

※数値は部位別の病期不明症例を含む全症例の 5 年相対生存率

※()内の数値は、2009 年から 2011 年症例の 5 年相対生存率

- 全部位 68.6% (68.4%)
- 食道 48.9% (46.0%)
- 胃 74.9% (74.9%)
- 大腸 76.5% (76.8%)
- 肝 38.1% (37.0%)
- 胆のう・胆管 28.9% (28.6%)
- 膵臓 11.1% (9.9%)
- 喉頭 82.0% (79.5%)
- 肺 46.5% (45.2%)
- 乳(女) 93.6% (93.7%)
- 子宮頸 75.7% (76.8%)
- 子宮体 86.3% (86.4%)

- 卵巣 65.3% (66.2%)
- 前立腺 100.0% (100.0%)
- 腎臓など 69.9% (69.4%)
- 膀胱 68.5% (69.0%)
- 甲状腺 92.6% (92.4%)

10 年生存率

- 2004 年から 2007 年に診断治療を行った 21 施設 94,392 症例について、病期不明症例を含む全症例と手術症例の 10 年生存率を部位別に算出しました。
- 算出した部位は、18 種です。
- 10 年相対生存率の算出は、2003 年から 2006 年に診断治療を行った 19 施設 80,708 症例に続き 6 回目の算出、公開です。
- データ提出施設が限られているため、前回同様に施設別の算出は行っていません。
- 全部位 58.3% (57.2%)
- 食道 31.8% (30.9%)
- 胃 66.8% (65.3%)
- 大腸 68.7% (67.8%)
- 肝 16.1% (15.6%)

- 胆のう・胆管 19.1% (18.0%)
- 膵臓 6.2% (5.3%)
- 喉頭 63.3% (61.9%)
- 肺 32.4% (30.9%)
- 乳 (女) 86.8% (85.9%)
- 子宮頸 68.7% (68.8%)
- 子宮体 81.6% (81.2%)
- 卵巣 48.2% (45.3%)
- 前立腺 98.8% (97.8%)
- 腎臓など 62.8% (64.0%)
- 膀胱 61.1% (62.6%)
- 甲状腺 85.7% (84.1%)

実測生存率、相対生存率とは

生存率には、実測生存率と相対生存率があります。実測生存率とは、死因に関係なくすべての死亡を計算に含めた生存率で、この中にはがん以外の死因による死亡も含まれます。一方、相対生存率は、がん以外の死因による死亡などの影響を取り除いたもので、患者集団の実測生存率を、患者集団と同じ性・年齢構成の一般集団における生存率で割ることによって算出されます。

- [別紙表 1.全がん協部位別臨床病期別 5 年生存率 \(PDF : 131KB\)](#)
- [別紙表 2.全がん協部位別臨床病期別 10 年生存率 \(PDF : 128KB\)](#)

日本語リリース

https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2020/1119/index.html